

【第2章】

雲仙市基本構想



第1節 雲仙市の将来像

雲仙市の将来像

「豊かな大地・輝く海と ふれあう人々で築く たくましい郷土」

将来像の考え方

豊かな大地・輝く海

■肥沃な大地、宝の海は雲仙市のシンボルであり、人々の誇り

雲仙市は、恵まれた気候・土壌により、多様な産地が形成され、農産・園芸・畜産のバランスのとれた農業が展開されています。また、雲仙は、古くより霊場、湯治場として知られ、早くから外国人への門戸が開かれたリゾート地として栄えるとともに、我が国最初の国立公園として全国的にも有名です。一方、有明海、橘湾の2つの海は、本市を両側から包み込み、海の幸の恵みと優れた景観をもたらしています。また、有明海を通じて対岸熊本地域との交流も古くから行われてきました。

この雲仙及び麓に広がる肥沃な大地、2つの海は、これからも雲仙市のシンボルであり、かつ、発展の礎として大切に育てていかなければなりません。

ふれあう人々

■地域を越え、世代を超えた人々の交流は、雲仙市発展の原動力

融和と協調の下に地域を越え人々が活発に交流することは、雲仙市の産業、文化の力強い発展に必要です。また、人口流出による少子高齢化の進行は、本市にとって深刻な問題ですが、ここには都会では失われつつある地域の絆、家族の絆が強く残っています。世代を超えたふれあいは、人々を元気にし、地域の歴史、文化、風土を次世代に残すことができます。人々のふれあいは、新しいまちづくりの原点であり、原動力です。

たくましい郷土づくり

■雲仙市の地域力、人材力を結集し、時代を見据えた魅力ある郷土づくり

雲仙市の基幹産業である農水産業、観光を核とした力強い産業を発展させ、雇用を確保し、人口を定着させること、高齢者が安心して生きがいを持って暮らすことができること、皆が安全・快適な生活を送ることができることはこの地に住む人々の願いです。このために豊かな自然と歴史、文化、風土に根ざした地域力、そして、地域を越え、世代を超えた人材力を結集し、豊かで魅力ある郷土づくりを目指します。

将来像実現のテーマ

雲仙・山麓「食」、「遊」、「快」のくにづくり

地域特性を最大限発揮し、地域間競争に勝ち抜く

1 「食」のくにづくり

雲仙市は県内有数の農業地帯であり、そこで生産される多様な農産物と有明海・橘湾から獲れる水産物の豊富さは、本市の特徴の一つです。しかしながら、海外からの安い農林水産物、加工品の流入、安全基準の強化等、農林水産業を巡る環境は厳しいものがあります。本市では、豊かな海の幸、山の幸の恵みを最大限活用しながら、ブランドの確立、流通対策、観光産業と結びつけた農林水産業振興等に積極的に取り組み、地域固有の食文化や食育の推進と併せ、地域をアピールする安全でおいしい「食」のくにづくりを目指します。

2 「遊」のくにづくり

雲仙市には、リゾート地として有名な雲仙・豊富な湯量を誇る小浜の温泉地のほか、神代小路の歴史的街なみや数々の史跡、紅葉や霧氷などの四季の彩り、白砂青松の千々石海岸や棚田等の自然景観、国見のサッカー、伝統の技や味、それを継承する人々など、多彩な資源や素材を有しています。本市では、これら地域の特性や資源を十分に活用し、連携させながら、多様化する観光ニーズに対応した新しい観光創出に取り組み、雲仙市全体を人々が集い交流する拠点とする「遊」のくにづくりを目指します。

3 「快」のくにづくり

市民一人ひとりが「愉快地、快適に、ここちよく」生活することができ、また、訪れる人々もこの地域の「住みやすさ、豊かさ」を実感できる郷土づくりを目指します。

生活基盤の整備とともに市民の地域活動の活性化や余暇活動の充実など、心豊かに快適な生活ができる「快」の空間を創出し、潤いのある新たな地域の魅力を創り出すことで、交流人口及び定住人口の増加を図り、賑わいあふれる「快」のくにづくりを目指します。

第2節 雲仙市の基本方針

まちづくりの基本方針

雲仙市の将来像を実現化させるための基本方針について、以下の6本を設定します。

基本方針① みんなでつくるまちづくり

■雲仙市のまちづくりは、市民が主役となり、交流し、行政への積極的な参加と連携を深めながら、市民と行政がそれぞれの特性を活かし、協力して社会的課題の解決にあたる、「協働のまちづくり」を進めていく必要があります。そのために、行政は各種情報を積極的に提供するとともに、健全で計画性のある財政運営と効率的な行政運営に努め、住民サービスの向上を図らなければなりません。また、人権を尊重し、男女がともに社会に参画できる環境づくりも必要です。

□ボランティア・NPO等支援、市民参加の仕組みづくり、人権尊重・男女共同参画社会づくり、健全で開かれた行財政運営に積極的に取り組みます。



基本方針② 快適で住みよい暮らしづくり

■市民一人ひとりが豊かさを実感し、安心・安全・快適な市民生活を送ることのできる環境づくりが必要です。また、この地域の産業、観光、生活に密接に関わる自然環境を大切に守り、次代に継承しなければなりません。

□下水処理施設等の整備による生活環境の向上、防災まちづくり、公共交通網の充実、市道などの新設・改良・舗装等による市内道路網の整備、距離を克服するIT等による情報連絡網の整備に取り組みます。また、開発にあたっては自然環境との調和を保つよう努めます。



基本方針③

笑顔いっぱいの健康と福祉づくり

■誰もが心身共に健康で明るく元気に暮らすことができるために地域保健・医療・福祉を充実させる必要があります。また、進展する高齢化に対応するために、誰もが生きがいとともに安心して暮らせる環境づくりが必要であり、援助を要する人には、各種支援制度と相互扶助や連帯に支えられた平等な社会づくりが必要です。

□地域保健・医療、健康づくり事業を推進し、高齢者福祉、障害者福祉、ひとり親家庭などの福祉等に積極的に取り組みます。また、市民の理解や参画を促進し、みんなで支えあう地域福祉の推進に努めます。



基本方針④

力強い産業と仕事づくり

■定住人口の増加を図り、地域を活性化させるためには、地域経済を発展させ、若者等に多様な就業の機会を創り出すことが必要不可欠です。このためには、地域の基幹産業である農林水産業を時代の流れに対応し力強く発展させ、担い手を育成するとともに、その他の産業についても雇用機会の拡大を目指した事業所の育成支援、新規雇用を生み出す企業誘致に取り組む必要があります。

□農林業については、安定した生産体制の確立や高付加価値化など、さらに競争力のある産業として定着させ、水産業の振興については、栽培漁業・養殖漁業、資源管理型漁業を中心に取り組みます。また、魅力ある商工業の振興とともに、豊富な水資源や農産物など本市の特色を活かした企業誘致や産業創出に取り組み、市内の雇用創出を図ります。



基本方針⑤

新しい観光・交流による活力づくり

■雲仙市は、全国的にも有名な雲仙温泉、小浜温泉を有し、有明海、橘湾等の優れた景観を備えています。また、市内には観光資源としての素晴らしい地域資源が点在しています。雲仙市では、これらの地域資源を最大限に活用しながら、市全体で観光・交流に取り組み、地域経済を大きく活性化させる必要があります。

□従来型の観光に加え、農漁業等の体験型観光、スポーツ交流や合宿、保養・療養などの滞在型観光等にも積極的に取り組みます。また、他地域との交流・連携をさらに強化するとともに、交流軸となる主要基幹道の整備促進に努めます。



基本方針⑥

明日を担う人づくりと誇りあるふるさとづくり

■子どもを産み、育てやすい環境をつくり、雲仙市の将来を託す「生きる力」を持った子どもを育て、また、市民一人ひとりが生涯にわたり自己実現を図るため、教養向上、学習の機会を提供することは本市の人づくりに必要なことです。さらに、地域の歴史、文化、風土を大切に次代に継承し、特色を備えた誇りあるふるさとづくりに取り組む必要があります。

□健やかな子育てができる環境づくりに取り組むとともに充実した教育により個性豊かでたくましい人間性を育み、市民の生涯学習、スポーツ・余暇活動を充実させ地域を支える人づくりに取り組みます。

